



東証二部上場

証券コード

[3198]

2015年9月期第2四半期決算 (補足資料①_決算概況)

SFPダイニング株式会社



2015年5月

2015年9月期 第2四半期 累計 総括

売上高 **13,450**百万円(前年同期比+46.6%)

営業利益 **1,250**百万円(前年同期比+45.0%)

(注) 前年の第2四半期の数値は未監査のため、参考値となります

- 新規出店は通期計画41店舗に対し、収益性の高い磯丸水産を中心に出店。また、鳥良商店が好調のため、川越店を追加出店し、第2四半期累計で28店舗を出店(進捗率68%)。既に通期計画分の賃貸契約は締結済であり、当期出店は計画を上回る42店舗で着地する見込み。
- 既存店売上高は前年同期比+0.5%で堅調に推移
- 全社ベースでの売上原価率は、原価率の高い磯丸水産の売上高構成比が増す一方、仕入原価の引き下げへの取り組み等により、おおむね前期並みを確保
- 販管費率は人件費が上昇する一方、郊外出店により、家賃負担が軽減され、前期比ほぼ横ばい
- 12月16日東証2部上場による財務基盤の強化
(自己資本比率 2014年9月期末:24.9% ⇒ 2015年9月第2四半期末:76.5%)

損益計算書の概要

積極的な新規出店に伴う開業費用を吸収し、増収増益を達成

単位：百万円／下段は構成比

	2014年9月期 第2四半期累計	2015年9月期第2四半期累計				概要
		計画	実績	前年比	増減額	
売上高	9,178 (100.0%)	13,101 (100.0%)	13,450 (100.0%)	+46.6%	+4,272	磯丸水産事業 +4,205 鳥良事業 ▲146 その他事業+213
売上総利益	6,629 (72.2%)	9,382 (71.6%)	9,701 (72.1%)	+46.3%	+3,071	原価率の高い磯丸水産の割合は増えるも、仕入原価引き下げへの取り組み等により前期並を確保
販管費	5,766 (62.8%)	8,325 (63.5%)	8,450 (62.8%)	+46.5%	+2,648	人件費率は上昇したものの、家賃比率が低下し、前期比ほぼ横ばい
営業利益	862 (9.2%)	1,057 (8.1%)	1,250 (9.3%)	+45.0%	+387	新規出店の開業費用を吸収して、第2四半期としての営業利益は過去最高
経常利益	866 (9.4%)	1,167 (8.9%)	1,331 (9.9%)	+53.7%	+465	営業外損益は上場に伴う費用負担が大きいが、今期より販売協力金が増加したことが寄与し、増加
当期純利益	528 (5.8%)	699 (5.3%)	746 (5.5%)	+41.3%	+218	
のれん償却前 当期純利益	664 (7.2%)	-	882 (6.6%)	+32.8%	+218	

(注) 前年の第2四半期の数値は未監査のため、参考値となります

成長ドライバーの磯丸水産が増収を牽引

単位：百万円／下段は構成比

	2014年9月期 第2四半期累計	2015年9月期第2四半期累計		
			前年比	増減額
売上高	9,178 (100.0%)	13,450 (100.0%)	+46.6%	+4,272
鳥良	3,099 (33.8%)	2,953 (22.0%)	▲4.7%	▲146
磯丸水産	5,428 (59.1%)	9,634 (71.6%)	+77.4%	+4,205
その他	649 (7.1%)	863 (6.4%)	+32.8%	+213

- 鳥良の既存店前年対比は+2.9%。但し、前期中に5店舗閉店したことおよび高田馬場店の業態転換の影響により、事業全体での売上高は減少。
- 磯丸水産の既存店前年対比は前期12月のTV放映効果による売上反動減等により▲1.2%。一方、積極的な新規出店および前期中に開業した店舗が稼働したことも寄与し、大幅増収。
- その他事業では、すし職人が握る本格すしの店「きづなすし」の2号店を10月に出店し、店舗数は10店に。

新規出店の状況

関西圏・郊外エリアへの積極的な出店

鳥良商店： 1店
磯丸水産： 26店
きづなすし： 1店



<兵庫県>

三宮駅前店

<東京都>

西新宿店(きづなすし)

巣鴨北口店

御徒町南口店

両国西口店

中野サンモール店

代々木店

自由が丘しらかば通り店

田無北口店

新橋烏森通り店

渋谷マークシティ横店

新小岩ルミエール店

立石店

浅草新仲見世通り店

<埼玉県>

川越店(鳥良商店)

春日部西口店

上尾西口店



<大阪府>

高槻店

天満駅前店

なんば御堂筋店

北心斎橋店

<神奈川県>

大和店

伊勢佐木町店

相模大野店

横須賀中央店

小田原錦通店

<千葉県>

本八幡北口店

千葉中央公園駅前店



店舗展開の状況

可能な限りの出店時期前倒しを進め、通期計画の68%を第2四半期で出店

	(事業別)				(地域別)				
	鳥良	磯丸水産	その他	合計	東京23区内	東京23区外	首都圏 (東京以外)	関西圏	
14年9月末	36	68	9	113	65	15	29	4	
出店 (a)	+1	+26	+1	+28	12	1	10	5	
業態転換	▲1	+1	0	0	-	-	-	-	
閉店	0	0	0	0	0	0	0	0	
15年3月末	36	95	10	141	77	16	39	9	
15年9月期通期 出店計画 (b)	0	+40	+1	+41	好調の鳥良商店から川越店を追加出店。 既に通期出店計画分の賃貸契約は締結 済であり、当期出店は計画を上回る 42店舗で着地する見込み。				
(a)/(b)	100%	65%	100%	68%					

貸借対照表の概要

単位：百万円／下段は構成比

		2014年9月期末	2015年9月期第2四半期末		
				前期末増減額	主な増減要因
資産	流動資産	2,514 (20.3%)	10,470 (47.6%)	+7,956	現預金 +4,742 有価証券 +2,999
	固定資産	9,886 (79.7%)	11,559 (52.4%)	+1,673	有形固定資産 +1,324 敷金及び保証金 +405 積極的な新規出店
資産合計		12,400 (100.0%)	22,029 (100.0%)	+9,629	
負債	流動負債	7,758 (62.6%)	3,696 (16.8%)	▲ 4,062	短期借入金 ▲4,800 借入金返済に伴う財務体質の改善
	固定負債	1,559 (12.6%)	1,489 (6.7%)	▲ 70	
負債合計		9,318 (75.1%)	5,186 (23.5%)	▲ 4,132	
純資産合計		3,081 (24.9%)	16,843 (76.5%)	+13,762	資本金 +6,501 資本剰余金 +6,501
負債・純資産合計		12,400 (100.0%)	22,029 (100.0%)	+9,629	

2014年12月16日付発表の2015年9月期業績予想は変更せず

2015年9月期 業績予想

単位：百万円／下段は構成比

	2014年9月期 通期	2015年9月期（予想）	
		通期	前期比
売上高	20,097 (100.0%)	28,630 (100.0%)	+42.5%
売上総利益	14,441 (71.9%)	20,413 (71.3%)	+41.3%
販売費及び 一般管理費	12,461 (62.0%)	17,553 (61.3%)	+40.9%
営業利益	1,979 (9.9%)	2,860 (10.0%)	+44.5%
経常利益	1,982 (9.9%)	3,150 (11.0%)	+58.9%
当期純利益	1,178 (5.9%)	1,950 (6.8%)	+65.5%
設備投資	2,264	3,207	+41.7%
減価償却費	475	765	+61.1%

今期の取り組み

- 出店加速による人員の確保に向け、採用担当者を増強し、地方採用、媒体数の拡大等、採用チャネルを増加。また、社内アルバイトからの登用を拡大し、定数を確保
- 7年振りの定期採用（新卒）再開による年齢構成の適正化
- 時間帯責任者、焼き物マイスター認証制度の導入（磯丸水産）によるサービス力向上
- 衛生管理の強化・徹底
東京都食品衛生自主管理認証制度を取得
- 購買部を新設し、食材の調達やコストコントロールをより強化

2015年9月期出店

磯丸水産の出店を加速し、利益をともなった成長を目指す

- 2015年9月期通期出店計画は41店舗（2014年9月期実績28店）
- 磯丸水産業態の出店加速
 - 磯丸水産の出店を年間40店舗へ加速（2014年9月期実績27店）
- 鳥良業態の進化
 - 「おもてなしとりよし（アッパー鳥良）」
「鳥良商店（カジュアル鳥良）」のトライアルを継続
 - 鳥良商店が特に好調のため、川越店を追加出店（2015年3月25日）
- その他事業
 - 「きづなすし」2号店を10月に出店



中間、期末において株主優待の実施を発表済。
配当は実施していないものの、今後の業績および株価水準等を勘案の上、株主還元策を検討

- 当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題と認識しており、経営成績および財政状態等を勘案し、利益還元政策を決定していくことにしております。
- 当社は2012年9月期から2014年9月期において、当期純利益を計上しておりますが、新規出店による事業規模の拡大及び財務基盤の強化を目的として内部留保の充実を優先した結果、配当を実施しておりません。
- 当社は株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、より多くの皆様に当社をより一層ご理解いただき、継続的なご支援をいただくこと、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を図ることを目的とし、株主優待制度を新設いたしました。3月末・9月末時点の株主様に、それぞれ4,000円の株主優待券を贈呈いたします。
- 今後におきましては、会社業績の動向に応じて株主への利益還元に取り組んでいく方針ですが、現時点において利益還元の可能性及びその実施時期については未定であります。

- ◆ 本資料はSFPダイニング株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ◆ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されています。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ◆ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料および当社IRに関するお問い合わせ先】

S F P ダイニング株式会社

経営企画部

TEL : 03-5491-5869

ホームページ : <http://www.sfpdining.jp/>